



日時：令和8年1月29日（木曜日） 10:00～11:30

場所：北区立岩淵保育園

事業概要：認可保育園 定員 152名

昭和51年5月1日開園

平成25年4月1日より当法人が指定管理者として運営

出席者：委員 新田恵美

北東京エリア総合施設長 布施正義

岩淵保育園園長 新保美幸

岩淵保育園副園長 小林美央

### ◎1階から3階までの各保育室を視察

新保園長：『大きくなったね会』という行事が2月14日あって、保育活動の集大成みたいなものを保護者の方々に見ていただくんですね。保育室だと狭いので3、4、5歳児は赤羽岩淵中学校をお借りして行うことになっているんです。運動会はすぐ隣にある第4岩淵小学校をお借りできたのですが、その時期は小学校の都合が悪くて。

新田委員：やっぱり時期的に難しいんでしょうね。でも、すぐ隣の方が保護者にとっても分かりやすいし良かったですよね。

新保園長：そうですね。運動会の際はアンケートでも“とても良かった”という感想を保護者の方から沢山頂いていました。自転車で来ても園庭に停められるし、使いやすいって…



### 調理室の前で

布施総合施設長：ここが調理室になっていまして、調理は全て委託会社にお任せしています。

新田委員：ここの施設内で作っているのですね。

布施総合施設長：はい。栄養士はこうほうえんの職員で、献立は栄養士が作っています。調理は委託しています。

新田委員：（調理室前に掲示してある手書きの献立表を見て）これ子どもが書くんですか？

新保園長：そうです。5歳児クラスのお当番さんが書いてくれています。

新田委員：メニューは日替わり？

新保園長：1か月の中で2週ずつ同じメニューができるようになっています。栄養のバランスもとってもいいですよ。アレルギーのあるお子さんのお食事はトレーに乗せてあって、他の子の食事と間違えないようにしています。調理室と栄養士と保育士とでチェックをして、誤食がないように徹底して確認しています。

### SDGS コーナーの前

小林副園長：ここは、子供服や玩具など家では使わなくなったけれどまだ十分に使えるものを持って来てもらって、欲しい方が持って帰るといった仕組みになっています。

新田委員：これいいアイデアですね！

小林副園長：子供服ってすぐに着られなくなってしまったり、好みと違うものを頂いたりすることもあるので、保護者からもご好評いただいています。



### 3歳児クラス

新保園長：ここはたんぽぽ組で3歳児クラスです。今、荒川の土手にお散歩に行っています。

布施総合施設長：この予定表を見ると、ほとんど毎日外に出ていますね。

新保園長：そうです。幼児は30名のクラスですが、今このクラスは24名しかいなくて。

新田委員：3歳児がちょっと少ないのですね。どうして？

新保園長：3歳に上がるタイミングで幼稚園に行かれる方、こども園に行かれる方、お引越しをする方のタイミングが重なってしまっ。今年度は3歳児クラスに空きがあります。他のクラスは全部埋まっているん

ですけどね。なので、幼稚園やこども園に負けないように特色を出していかないと話していて、来年度は英語教室を取り入れてみようと考えています。

布施総合施設長：保育時間はみなさんどれ位ですか？

新保園長：朝は殆どの方が9時までには登園しています。帰りは早い方は16時過ぎに迎えに来ていますが、お迎えのピークは18時くらいで18時15分から延長保育になるので一気に人数が減ります。

新田委員：追加料金が発生しますからね。

新保園長：延長保育を利用している方は、全体の人数の割にはだいぶ少ないですね。10人いないくらい。保護者の働き方も変化してきて、在宅ワークの方も増えています。

## 2 歳児クラス

新保園長：こちらは2歳児クラスのもも組です。全部で27名のクラスなので例年は2つのクラスに分けているんですけど、割としっかりしている子どもも多く一緒に活動できるところは一緒に過ごしています。北区のコーディネーターといって保育のアドバイスをしてくださる先生が定期的に来てくださるのですが、今年は2歳児クラスを1年通じて見てもらっています。実際に保育を見て、こういうところはこうした方が良いとか、こういうところはすごく良いとか…たくさん褒めてくださるので、職員の励みになっています。来年は東京都社会福祉協議会の大会で2歳児クラスが研究発表をする予定です。

新田委員：へえ、そうなのですか。

新保園長：はい、保育士たちのモチベーションアップとかスキルアップにつながると思っています。

新田委員：(保育室にあった作りかけの節分にちなんだ手作り玩具を見て)今、節分の準備をしているのですね。

新保園長：はい、クラスの先生たちで色々アイデアを出し合いながら準備しています。

新田委員：(柊翹の製作を見て)ヒラギイワシ。こういうものは今では家庭ではやらないから、保育園で教えてもらえるとありがたいですね。(鬼の被り物の製作を見て)これは鬼の角、子ども達が被るのね。工夫されていますね。

こちらはトイレ？

小林副園長：そうです。2つのお部屋の真ん中にトイレがあります。2歳児クラスだとトイレトレーニングもだいぶ進んでいて、今のこのクラスの子たちは殆どパンツで過ごしています。

布施総合施設長：ウォシュレットは付いていないのですか？

小林副園長：ウォシュレットは付いていないのですが、便座は温かくなっています。

新田委員：へえー、小さくて可愛いですね。

新保園長：3歳児クラスからはトイレも個室になって、プライバシーを守るようになっています。



## ◎視察後の懇談

布施総合施設長：一回り見ていただきまして、何かお気づきの点やご質問はありますか？

新田委員：やっぱり建物自体も50年ってということで、ハード的な部分でご苦労されているのではと感じました。

でも上手く工夫して使っていくしかないですね。ただ、防災とかいうことを考えた時に、訓練はどんな感じでしているのでしょうか？

新保園長：毎月行っています。地震だったり、火災だったり、津波だったり…と、いろんなシチュエーションを想定して必ず毎月行っています。

新田委員：やっぱり地震とかね、いつ起きるか分からないので対策がしっかりできていれば良いと思いました。私が働いている東洋大学も9階建ての建物なんですけど、非常時にパッと広げて滑り降りるみたいなものは一回使っちゃうと自分達でしまえないので練習できないですよ。大学生だとそれなりに指示に従って動けるけど、保育園の小さい子だと大変ですよ。

新保園長：そういうことも考えると、3階を0、1歳児の保育室にしたことに謎が残りますね。

新田委員：そういったことへの対策が今後の課題かもしれないですね。保護者の方にも対策を説明できるように準備しておいた方が良いかと思います。前回、キッズタウンうきま保育園を見せていただいた時に、各お部屋に防災頭巾が置いてありましたがこちらもそうですか？

新保園長：はい、各クラスに人数分置いてあります。もちろん、すぐに分かる場所に置いていますが、小さいクラスだとイタズラしてしまうこともあるので。

新田委員：保護者対応とかは大丈夫ですか？前の園長先生の時だったかしら？保護者同士のトラブルがあったかと思うのですが…

小林副園長：最近の保護者は、保護者同士でLINEのグループを作って、お休みの日にみんなで集まって遊んだとか、BBQをしたとか交流が盛んみたいです。

新保園長：その反面、子ども同士のトラブルについてもLINEで情報が回っていたりすることもあるので難しい面もありますよね。子ども同士のトラブルが園で起こった時には私達園側で解決させていただきたいという思いでいます。子ども達もその中でいろんなことを学んで成長していくのですが、保護者の方もこちらがきちんと説明をすれば理解して下さっているので、ご理解いただけない方はそんなにいないですよ。今年一件あったのは、乳児クラスで子ども自身はまだお話はできませんから、その子は外国籍のお母様で、続けて噛まれてしまった時に『うちの子はいじめられているのではないか』『噛んだ相手の子とは一緒にさせないでくれ』なんて言われたことがありました。その時には、『まだ良いことと悪い事の判断ができる年齢ではない。』ということと、『そういうことが起きてしまったのはこちらの責任であるので、十分気を付けていきます。』と説明をして理解して頂きました。先生たちも子ども達が安全に過ごせるように日々緊張しながら保育をしています。

新田園長：やっぱり先生方がどれだけ丁寧に子どもたちと関わってくれたかっていうところですよ。それが伝わると多少の問題が起きたとしても保護者も『まあまあ』みたいな感じになるんですよ。日頃からのコミュニケーションや信頼関係を築いていくことって大事なことなんだなあって思います。ありがとうございました。

布施総合施設長、新保園長、小林副園長：ありがとうございました。

